



ふれあい

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

第37回京極町ふるさとまつり協賛事業 ふれあい広場を **開 催**

8月14日(水)「第27回京極町ふれあい広場」を開催いたしました。福祉課題について理解を深めることを目的に毎年開催しています。今年も地域福祉拠点kyo-cocoでは住民企画のフード販売、外ではかき氷、わたあめ、ポップコーン、手作り雑貨販売、北海道の授産製品委託販売、今年初の取り組みとして浴衣の着付け貸し出しを行い、たくさんの人が訪れました。

ふれあい広場での収益は、町の福祉事業に大切に使われます。

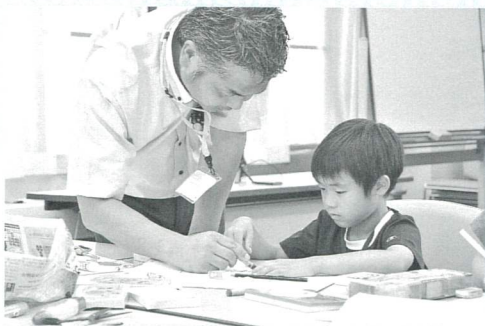


関係団体のほか、
多くのボランティアさん
の協力をいただき
ました。

【関係協力団体】

京極町女性団体連絡協議会、京極町身体障害者福祉協会、京極町民生委員児童委員協議会、
京極町母子寡婦会、福祉委員、女性の会、京極製氷株式会社、羊蹄セルフ、NPO法人ともにワークショップようてい

子ども アイデア セミナー



7月28日(日)京極町と真狩村の小学生を対象とした「子どもアイデアセミナー」が道内で唯一、本町にて開催されました。子どもの自由な発想力と創造力を高め、表現する力を育む本田技研工業株式会社(あの車メーカーのホンダです)が展開する社会貢献活動「子どもアイデアコンテスト」と京極町にはご存知の方も多い、篠原辰二さんが理事長を務める一般社団法人ウェルビーデザインのコラボレーション企画です。講師には、兵庫県たつの市立新宮小学校教諭の石堂裕さん。(注1)

京極町の子どもたちは特別養護老人ホーム慶和園にて見学や入居者の皆様との交流による体験学習を行い(真狩村の子どもたちは特別養護老人ホーム真狩羊蹄園にて体験学習)体験終了後は、京極町福祉センターに集合し、アイデア出しのワークショップを行いました。体験学習から考えた高齢者に優しい発明品を、子どもたちが一人ずつ発表。高齢者のちょっとした困りごとのお手伝いをしてくれる「お手伝いロボット」や飲むと昔の良い思い出が蘇り心が元気になる「元気カプセル」など子どもならではの発明品が発表され、笑い声が溢れる楽しい雰囲気となりました。

来年度以降の開催は今のところ未定ではありますが、このセミナーは子どもたちが福祉とつながることができる機会になりました。このような経験から、子どもたちが福祉の仕事に興味を持ってくれたり、「福祉って面白い!」とってくれるきっかけになると嬉しいです。

注1: 1969年生まれ。総合的な学習の時間に「地域貢献活動」を位置づけ、子どもたちの学力と郷土愛を育む授業づくりを展開し、内閣総理大臣賞をはじめ、全国表彰に毎年輝くなど、高い評価を受けている。また、県内外より、教科、総合を問わず年間20回以上の視察授業を受け入れるとともに、研究推進コーディネーターとして複数校に関わり、校内研修をサポートもしている。

3 本当の豊かさを問う

文 笹原 満雄

平成14年5月頃だと記憶している。高瀬製作所へ農機具の修理に行ったとき、「修理を待っている間にお茶でも」と、当時の会長・高瀬嘉太郎氏の自宅に招かれた。高瀬さんは当時社会福祉協議会の会長で、町の福祉の発展に尽くされていた。

お茶を頂きながら世間話をしていたが、そのうちに「頼みがある」と高瀬さんが切り出した。「社協の役員に経済団体の人がいないのは問題だ。そこでだが、笹原さんに社協の役員になっていただきたい。」予想もしていなかった話に、わたしはその場で断った。全く畑違いの分野で自分には無理だと思ったからだ。

しかし、高瀬さんはあきらめなかった。3か月後の8月下旬、我が家までタクシーで来られて、再び依頼してきた。その時高瀬さんから「自分の余命は6か月だ」と聞かされた。そうまで言われて、その場で断ることはできなかった。

結果として、その年の役員改選でわたしは京極町社会福祉協議会の理事に就任した。

生活支援コーディネーター紹介

生活支援コーディネーターってどんな人？

以前の「ふれあい」にも掲載させていただきましたが、生活支援コーディネーターの役割についてまたご紹介したいと思います！

生活支援コーディネーターの役割

注1:社会資源とは？
日常生活を営む上で人々が抱える様々な問題を解決するための福祉サービスの総称

地域にある社会資源(注1)や「つながり」を把握します。皆さんの地域での活動を教えてください！

地域での「支え合い活動」を推進します

地域にある「支え合い活動」の重要性をご説明に伺ったり、活動を進めるためのお手伝いをいたします



今後、そこで得た情報をもとに再度、町内会の方へ出向き各町内会の皆さんと「支え合いの地域」を作るためにはどうしたら良いかを一緒に考えたいと思っていますのでどうかよろしくお願いたします。

ちょっとした困りごとを解決するためのつながりを作ります

地域の住民さんの「ちょっとした困りごと」を解決するために専門職や団体・個人と共有します



今後の活動予定としては、昨年12月～今年の3月までの期間で、京極町の各町内会長ののもとへご訪問させていただきました。(諸事情によりご訪問できなかった町内会もございます。)

各町内会の活動や自慢できること・困っていることなどお話ししていただき、地域のことをさらに知る機会となりました。

これからもこの広報「ふれあい」で、生活支援コーディネーターの仕事内容や活動報告を発信させていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

日々の暮らしの中での「ちょっとした困りごと」や「こんなサービスがあったらいいな」などありましたらお気軽にご相談ください。

やりたいことを始めるお手伝いをします

趣味や得意なことを活かせる場や団体へおつながりいたします。生きがいづくりや楽しみづくりを一緒に考えましょう！



居宅介護支援事業所

消費税率引き上げについて



令和元年10月から、消費税が8%から10%に変更になりました。それに伴い、介護保険の各サービスも引き上げに合わせて新単位数が適用される事となります。

区分支給限度基準額（各々の要介護度によりサービスの利用限度額が決まっています）も引き上げられ、これまでと同じ量のサービスを介護保険内で受けられる事となります。

詳細につきましては、サービスを利用している各事業所からご案内や

説明をさせていただいておりますが、居宅介護支援事業所でもご確認していただく事ができますので、ご不明な点についてはご相談ください。

ご不明な点やお問合せは…

京極町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所
【保村・佐藤】

☎0136-42-3681

までご連絡をお願いします。

訪問介護事業所

介護報酬改定について

令和元年10月1日より、消費税8%→10%に引き上げになります。それに伴い、利用料金の変更がありますので、宜しくお願い致します。



1.身体介護が中心である場合

サービス提供時間	現 行	引き上げ後
20分未満	165単位	166単位
20分以上30分未満	248単位	249単位
30分以上1時間未満	394単位	395単位
1時間以上1時間30分未満	575単位	577単位
以降30分を増すごとに算定	83単位	83単位

2.生活援助が中心である場合

サービス提供時間	現 行	引き上げ後
20分以上45分未満	181単位	182単位
45分以上	223単位	224単位



要支援の判定を受けている方については料金の変更はありません

京極町介護予防センター

京極町には住民のみなさんが主体的に介護予防に取り組んでいる「つどいの場」が8か所あります(令和元年9月現在)。今回は4番目に活動を開始した「ゴールドラッシュ」の紹介をします。

突撃!つどいの場 ~「ゴールドラッシュ」の巻~

「ゴールドラッシュ」は町内第4号のつどいの場として平成29年11月1日より活動を開始しました。

男性の参加者が増えないので、近所の方はぜひ参加して下さい!



「ゴールドラッシュ」

開催日時:毎週水曜日10:30~

場所:湧学館2階文化教室

サポーター:3名(下の写真参照)

参加平均人数:9名

その他:ちょこっと体操以外に
ドミンリハ体操や
まつり体操、ラダーや脳トレ
も取り組んでいます。

「ゴールドラッシュ」サポーター紹介

*つどいの場サポーターとはつどいの場を自ら開設し、中心になって活動する人です

柴山 光子さん

多くの方と関わりたいと思っています。

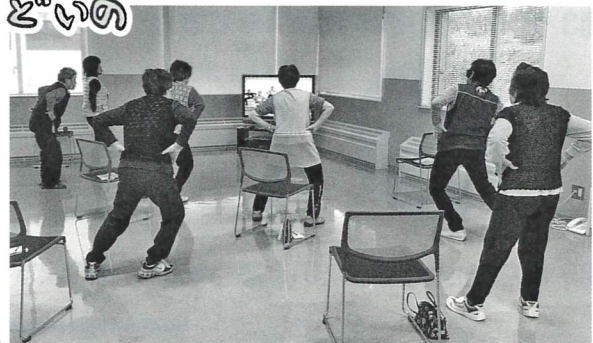


板谷 重子さん

1人でも多くの方に参加してもらいたいです。

赤間 真知子さん

色々な方を誘いたいと思っています。



元氣湧く湧く手帳

介護予防手帳
保存版
第2版完成!

京極町の高齢者の皆様がいつまでも元気で過ごしていただくための町内の様々な情報が盛りだくさん!先日の敬老会に出席された方にはすでにお渡ししていますが、65歳以上の方には随時お渡ししていきます。

お問い合わせは… 介護予防センター (代表☎0136-42-3681)

京極町地域包括支援センター

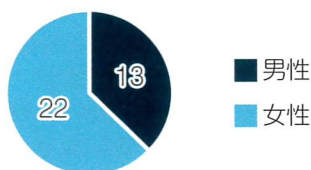
ケアを行っているご家族の要望にあった取り組みをしたいと考え、アンケートを実施しました。それと同時に、どんぐりカフェの認知度と参加意向も一緒にお聞きしました。

【ケアされているご家族へアンケート調査】

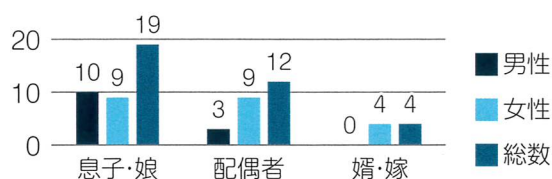
- 対象者:ケアマネージャーが把握している、日頃ケアを行っているご家族 58名
- 回答率:35件 (回答率61%)

アンケート結果

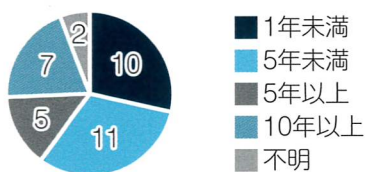
問1 あなたの性別を教えてください



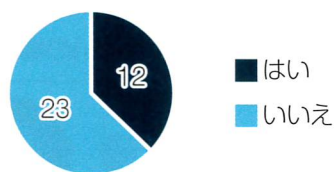
問2 ケアしている方との間柄を教えてください



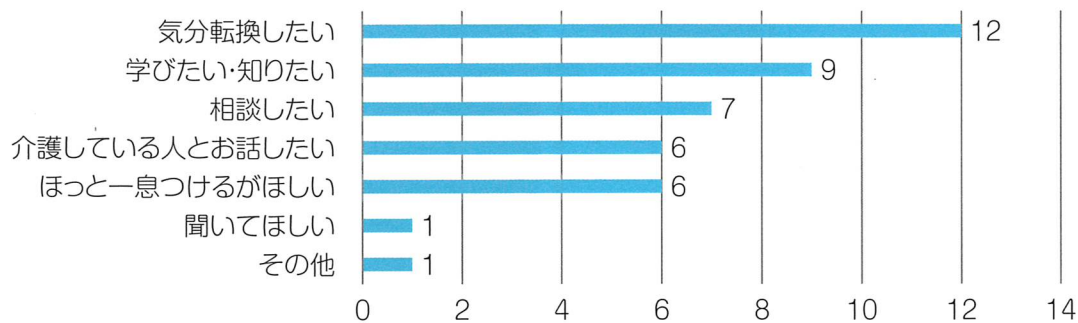
問3 ケアしている年数は何年ですか



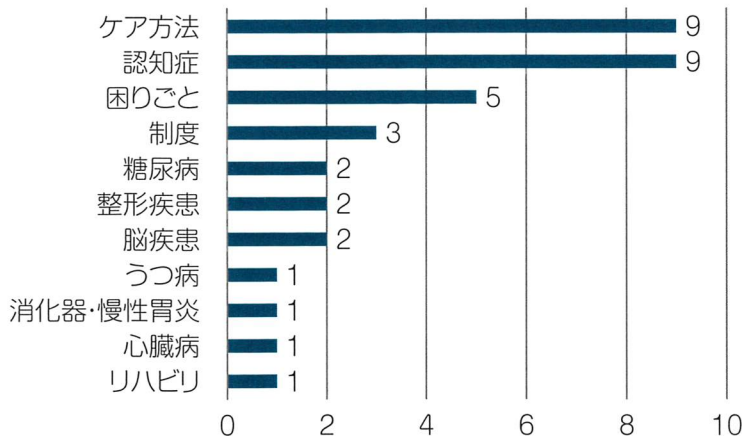
問4 学習会や交流の場があったら参加したいですか



問5 あなたが利用したいと思うものはありますか (いくつでも可)

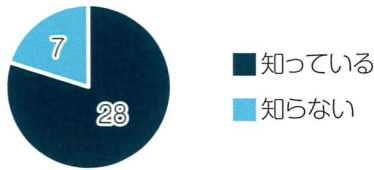


問6 知りたいこと・学びたいことはどのようなことですか (いくつでも可)

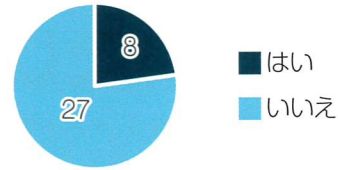


問7 どんぐりカフェ (認知症カフェ) についてお聞きします

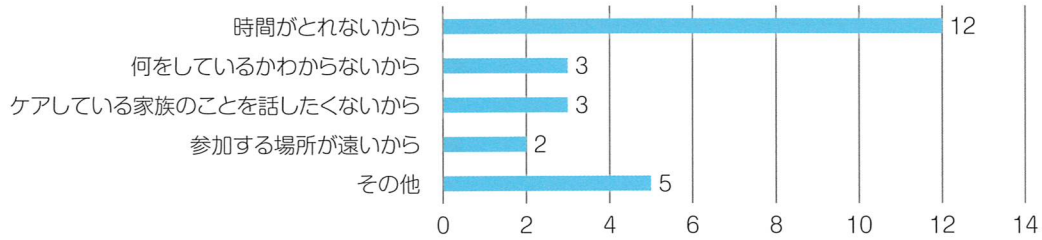
(1) どんぐりカフェを知っていますか?



(2) どんぐりカフェに参加したいと思いませんか?



(3) 差し支えなければ、どんぐりカフェの参加に「いいえ」を選んだ理由を教えてください



アンケートの結果から

- 気分転換したい方と、学びたい方が多いことがわかりました
- ケアの方法と、認知症について学びたい方が多くいました
- どんぐりカフェを8割の方が知っていたが、参加したい方は2割でした

これからの取り組み 『家族の学びの会』を開催します

対象 / 日頃介護を行っているご家族

- 内容 /
- 「認知症について」：羊蹄グリーン病院 精神科 藤元君夫先生
 - 「ケアの方法」：老人福祉施設慶和園 介護福祉士 山中幸代氏
 - どんぐりカフェの体験 (希望される方)

どんぐりカフェに来たいと考えている方が参加しやすいように、行っていることがわかるお知らせの方法や開催時間を検討していきたいと思えます。

対象の方には個別にご案内させていただきます

ケアを行っているご家族の方、アンケートのご協力ありがとうございました。

8月14日ふれあい広場にて...

あんしんネットワークについてのご紹介をおこない、個人協力者として21名の方にご登録いただきました。ご協力ありがとうございました。

●あんしんネットワークとは

認知症などにより所在不明となった方の早期発見・保護に取り組む、地域ぐるみのネットワークです



京極町生活サポートセンター

市民後見人としての活動をご紹介します

京極町では市民後見人さんが2名活躍しています。今回は市民後見人として活動している古屋清子さんにインタビューさせていただき、市民後見人としての活動をご紹介します。と思います。



Q1. 市民後見人養成研修会をうけるきっかけを教えてください。

A. どういう事をするのか、どういふ仕事をするのか興味があり、勉強してみたいと思ったのがきっかけで、町での補助もあり受けてみました。

Q2. 養成研修は難しかったですか？感想を教えてください。

A. 時間を取られてしまうのはあるけれど、研修自体は難しくないと思います。

Q3. 現在2名の方の成年後見人を受任されていますが、どんな活動をしていますか？

A. お二人とも、月2~3回施設に顔を出し、会話は成立しない方ですがこちらからお話をして、15分~20分位一緒に過ごしています。その時は被後見人さんの好きな食べ物を持って行って、一緒に食べたりもしています。その他に、施設料のお支払いをしたり、被後見人さんへお小遣いを持って行くなどの事もしています。

Q4. 成年後見人をしていての苦労はありますか？

A. 今の所大変ではないです。自分の空いている時間に活動出来るのと、サポートセンターと一緒に受任しているので書類を書いたりもないので負担にはなっていません。

Q5. やりがいを教えてください。

A. 会話は出来ないけれど、会いに行ったら、ニコッとしてくれるから、待っていてくれて、喜んでくれてる事が嬉しい。

Q6. 生活サポートセンターとはどんな連携をしていますか？

A. 講習会と一緒に出ています。現在通帳などは社協で管理してもらっているので、毎月お支払い時には社協へ行っています。サポートセンターの方と誕生日や時間が合う時は一緒に被後見人さんに会いにいたりもしています。

Q7. 報酬があるとききました。プレッシャーや責任を感じたりしますか？

A. 社協と一緒にしているので、特にプレッシャーなどはないです。自分の為自分を元気にする為に、市民後見人になったので、特に責任をかんじていません。

Q8. 今後、市民後見人になる方へ何かありますか？

A. 社協との連携がある為、是非若い方や定年になられた方などにやってほしいと思ってます。

〈お問い合わせ先〉

京極町生活サポートセンター
京極町三崎68番地(福祉センター内)

☎0136-42-3681

担当 駒田・阿蘇 まで

共同募金へご協力をお願いします

今年も赤い羽根募金、歳末たすけあい募金が始まります。
京極町では、町民みなさんのご協力のおかげで毎年目標額に達することができています。寄せられた募金総額の、約8割が京極町の福祉のために使われ、残りが北海道広域の福祉事業のために使われます。



赤い羽根共同募金

【期間】10月1日～12月31日

目標額:1,027,000円

(募金の使われ方) ※昨年度

広報ふれあい発行、小学校ボランティア活動助成金、高齢者緊急通報システム設置助成金、共楽クラブ・湧水塾・身体障害者福祉協会の団体活動の助成金など。

歳末たすけあい募金

【期間】12月1日～12月31日

目標額:1,250,000円

(募金の使われ方) ※昨年度

一人暮らし高齢者や重い障がいを持つ方などへ歳末支援金の配付、福祉施設でのクリスマス会開催、除雪ボランティアイベントの開催など。

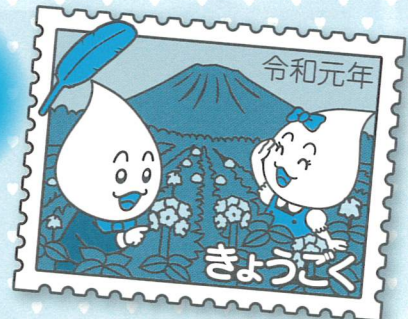
赤い羽根募金 京極町限定募金バッジ

ゆうくん すいちゃん & 羊蹄山とジャガイモ畑

1コ **500円** (寄付額 300円)

募金バッジ令和元年バージョンが出来ました！
数量限定、京極町限定で実施します。
寄せられた寄付金は主に京極町内の福祉活動につかわれます。

福祉センター
窓口で取り扱い
していますので、
お早めどうぞ。



赤い羽根共同募金は、京極町の地域福祉活動の貴重な財源です。
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄付・寄贈に感謝いたします。◆期間／6月～8月

寄贈

- 米田 美津子様
- 前沢 政次様

寄付

【福祉基金へ】

- 柴山 光子様より、京極町の福祉のために
- 山田 達也様より、母の故 山田 近子様のお礼として
- 竹山 充光様より、義理の母の故 高 雪子様のお礼として
- 後藤 弘様より、妻の故 後藤 さつ子様のお礼として
- 伊藤 聡様より、母の故 伊藤 ふさ子様のお礼として
- 古屋 清子様より、京極町の福祉のために
- 北海道信金つくし会様より、京極町の福祉のために
- 斉藤 修一様より、母の故 斉藤 チャ様のお礼として
- 京極町商工会青年部様より、京極町の福祉のために



デイサービスだより

【デイサービスの利用料金を変更します】

令和元年度介護保険法の報酬改定により10月1日より利用料金に変更となりました。変更点については以下のとおりです。

要介護1～5の利用者様 (午前9:30～午後3:40までご利用の場合)	
要介護1	575円
要介護2	679円
要介護3	784円
要介護4	888円
要介護5	993円
入浴加算 (変更なし)	50円
食事代 (変更なし)	1食 500円
介護職員処遇改善加算 (※)	4.3%

(※)利用料金の合計に加算します

要支援の判定を受けている方については料金の変更はございません。

詳細、ご不明な点についてはデイサービスセンター(担当:後藤田)までお問合せ下さい。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご利用時間に応じて
利用料金は異なります



【行事のご紹介】

